

令和8年度佐久地域定住自立圏共生ビジョン懇談会 議事録（要旨）

日 時：令和8年8月7日（金）

午後1時30分～午後3時30分

場 所：佐久市役所南棟3階会議室

- 1 開 会
- 2 自己紹介
- 3 会長あいさつ
- 4 議 事

会 長	それでは、会議事項「（1）佐久地域定住自立圏について」事務局から説明をお願いします。
事務局	【資料1】「定住自立圏構想について」説明
会 長	ここまでの説明につきまして、委員の皆様から御質問などがありましたらお願いします。 （意見なし）
会 長	特にないようなので、引き続き会議事項「（2）第三次佐久地域定住自立圏共生ビジョンの進捗管理について」事務局から説明をお願いします。
事務局	【資料2－1】「第三次佐久地域定住自立圏共生ビジョン（変更案）」 【資料2－2】「R8第三次共生ビジョンにおける成果指標等の進捗状況」説明 ※補足 <u>資料の見方</u> 事業費欄が一行の事業は、中心市である佐久市の事業費見込額を掲載しています。（例：P17 事業番号1） なお、事業費が0千円となっている事業は、経常的な経費によるもの又は予算の執行を伴わずに取組を推進する予定のものです。
会 長	ただいまの説明につきまして、皆様から御意見などありましたらお願いしたいと思います。

委 員	東信教育事務所長です。御説明ありがとうございます。1点確認させていただきます。資料2-1の32番(54ページ)にございます『文化・スポーツ施設等相互活用促進事業』についてです。この事業の事業費を見てみますと、R4からR8まで全て『0』と記載されております。先ほどの事務局の説明ですと、事業費が0と記載されているものは『予算措置は伴わないが、調査研究や情報共有等を実施しているもの』とのことでした。この事業につきましては、具体的に0予算の中で、現状どのような連携や取組が実施されているのか。あるいは、今後どのような活動を計画されているのか、具体的な状況を教えていただけますでしょうか。
事務局	御質問ありがとうございます。この『文化・スポーツ施設等相互活用促進事業』に関しましては、おっしゃるとおり予算措置自体を伴わない事業として進めております。具体的な取組内容といたしましては、圏域内の住民の皆様が、お住まいの自治体以外のスポーツ施設や文化施設も広く活用できるよう、関係市町村間での施設の利用条件や情報について共有を図る『調査研究』を行っております。 現在行っている具体的な活動としては、中心市である佐久市のホームページにおいて、圏域内の他市町村で相互に利用可能な主要スポーツ施設の一覧や、利用時の手続・概要を取りまとめて掲載し、広く情報発信と周知啓発を行っている状況でございます。
委 員	ありがとうございます。圏域住民が他の市町村にある施設を調べ、施設が使えるということを確認できるような仕組みとして現在稼働している、という理解でよろしいでしょうか。
事務局	はい、おっしゃるとおりでございます。
委 員	わかりました。ありがとうございました。
会 長	それでは、第三次佐久地域定住自立圏共生ビジョンの変更につきましては、変更案のとおりといたします。 引き続き会議事項「(3)第四次佐久地域定住自立圏共生ビジョンの策定について」事務局から説明をお願いします。
事務局	【資料3-1】「第四次佐久地域定住自立圏共生ビジョン(案)」

	【資料３－２】「第四次佐久地域定住自立圏共生ビジョンに係る資料」 【資料４】「佐久地域定住自立圏に係る令和８年度スケジュールについて」説明
会 長	ただいまの説明につきまして、皆様から御意見などありましたらお願いしたいと思います。
委 員	東信教育事務所長です。御説明ありがとうございました。先ほど丁寧に御説明いただきました不登校児童生徒の支援及びＩＣＴ教育に関する、次期（第四次）ビジョンでのＫＰＩ（重要業績評価指標）の変更につきまして、その基本的な考え方や、より実質的な支援の成果を評価しようとする方向性には、同意いたしますし、この変更特に異議はございません。 ただ、意見として１点申し上げたいのですが、新しく採用しようとしている指標の表記についてです。例えば不登校支援の『学校内外の機関や、教職員から継続的な相談・指導を受けた状況』という言葉、あるいはＩＣＴ教育の『児童生徒の情報活用能力』という表現は、この文書だけを読んだ際に、一体どのようなデータを使用し、どのような方法で測ろうとしているのかが、少々わかりにくいように感じられます。 不登校の件でいえば、不登校の児童生徒全体のうち、実際に相談や指導を受けることができた割合なのか。あるいは、ＩＣＴであれば具体的に文科省や学力学習状況調査のどの設問データを使って測っている率なのか。表現が長くなってしまう懸念はありますが、もう少し具体的に『〇〇調査における回答率』や『〇〇の割合』といった詳細な補足を表記、あるいはわかりやすい言葉に工夫していただいた方が、より実効性と透明性が高まるのではないかと考えます。御検討をお願いいたします。
事務局	貴重な御意見をありがとうございます。御指摘のとおりでございます。この指標案につきましては、それぞれの推進部会（教育部会など）での専門的な協議を経て提案された内容を、事務局としてそのままビジョン案に掲載させていただいたため、少々専門的で一般の方には伝わりにくい表記になっておりました。委員から御指摘いただきました点を踏まえまして、不登校支援における『分母・分子

	(支援を受けた児童の割合など)』の定義や、ICT能力における『全国学力学習状況調査等の具体的な設問への肯定回答率の平均値』などの測定根拠を、ビジョン内にわかりやすく補足・調整をさせていただき、よりわかりやすい計画となるよう見直し・修正をいたします。ありがとうございます。
委 員	佐久建設事務所長です。成果指標について1点確認させてください。先ほどの第三次ビジョンの進捗管理(資料2-2、No.18)において、地域公共交通の延利用者数が、基準値の約39.4万人から実績値で約61.4万人へと大幅に増加しているとのことで、大変心強い成果だと思っております。この約61.4万人まで大きく増えた一番の要因は何だったのでしょうか。また、それだけ大きく実績が伸びているのに対し、次の第四次ビジョンのR13目標値が『64.1万人』(資料3-2、5ページ)と設定されておりますが、これは現状の実績からすると、あまり上乗せをしていない、保守的な目標値に見えます。実績に対して目標値があまり伸びていないのには、どのような理由や課題背景があるのか、併せて教えていただけますでしょうか。
事務局	御質問ありがとうございます。公共交通延利用者数の推移が大きく伸びた点、及びその要因、並びに第四次における目標設定値の積算根拠についてでございますが、詳細なデータや部会での具体的な積算プロセスについて、現時点で事務局として詳細に手元で把握しきれていない部分がございます。整理した上で、後日、改めて資料などの形で懇談会委員の皆様へ共有及び情報提供をさせていただく形といたしたいと存じます。大変恐縮でございますが、そのような対応でよろしいでしょうか。
会 長	事務局からの回答のとおり、公共交通の具体的な推移要因及び目標の設定背景につきましては、一度しっかりとデータを確認いただき、後日、事務局よりわかりやすい形で委員の皆様へ資料を配布・共有いただくということで、本日の場合は整理させていただきたいと思っております。よろしいでしょうか。 (各委員了承)

会 長	他に御意見・御質問はございませんでしょうか。 (特になし)
会 長	それでは議事を進行いたします。 引き続き会議事項「(5) その他」について事務局から何かございますか。
事務局	今後のスケジュールについては、資料4で御説明させていただいたとおりです。
会 長	委員の皆様から何かございますか。 (特になし)

5 閉 会

※ビジョン懇談会において、委員の皆様から頂きました第四次共生ビジョンのK P Iに係る御指摘（学校教育関係の指標のわかりやすい表記への修正、公共交通の増要因調査とK P I 設定背景の情報共有）のほか、ビジョン内の表記、公表された最新の数値などについて、改めて確認検討を行い、回答及び修正案を作成しましたので、以下御確認ください。

公共交通の増要因及び第四次ビジョンのK P I 設定根拠について

【質問】 委員（佐久建設事務所長）より

第三次ビジョンの進捗管理（資料2-2、No. 18）において、地域公共交通の延利用者数が、基準値の約39.4万人から実績値で約61.4万人へと大幅に増加しているとのことで、大変心強い成果だと思っております。この約61.4万人まで大きく増えた一番の要因は何だったのでしょうか。また、それだけ大きく実績が伸びているのに対し、次の第四次ビジョンのR13目標値が『64.1万人』（資料3-2、5ページ）と設定されておりますが、これは現状の実績からすると、あまり上乗せをしていない、保守的な目標値に見えます。実績に対して目標値があまり伸びていないのには、どのような理由や課題背景があるのか、併せて教えていただけますでしょうか。

【回答】

第三次ビジョンにおいて、延べ利用者数が基準値（約39.4万人）から実績値（約61.4万人）へと大幅に増加した主な要因は以下の2点であると考えます。

- コロナ禍からの需要回復と高まり

基準値の令和2年度はコロナ禍であり、利用控え等の影響を大きく受けていたが、その後の行動制限緩和等に伴う利用需要の回復・高まりが非常に大きかった。

- 各自治体による運行形態の整備

各自治体が進めた増車や運賃調整などの利便性向上施策が、回復した需要を確実に取り込む受け皿として機能した。

第四次ビジョン目標値（R13目標：64.1万人、各市町村の目標を合算）を設定するに当たり、以下の課題がございます。

- 人口減少に伴う将来需要の低迷

圏域全体の人口減少や高齢化が加速する見通しの中、中長期的に利用者の大幅な自然増を見込むことは構造的に困難であると見込んでいる。

- 車両等のキャパシティ（供給能力）の限界

運転手不足や運行コストの高騰など事業者を取り巻く環境が厳しさを増す中、現行の車両台数や運行頻度、運行体制等のキャパシティに鑑みると、これ以上の利用者大幅増を受け入れること自体が物理的・システムの難しい状況にある。

以上の理由から、次期ビジョンにおきましては、急激な利用拡大を目指すのではなく、現在の運行体制の維持と事業者の負担軽減を図りながら、持続可能な公共交通ネットワークを確保していくことを主眼に目標値を設定しております。

資料２－２ R 8 第三次共生ビジョンにおける成果指標等の進捗状況

・P 2 事業番号 1 5 広域的観光の推進 令和 7 年度実績値：「未公表（令和 8 年 8 月に公表）」を、「17,295,900 人（令和 7 年度）」に改める。

資料３－１ 第四次佐久地域定住自立圏共生ビジョン（案）

・P 9 6 行目「佐久総合運動公園」を、「鈴与マタイススポーツパーク（佐久総合運動公園）」に改める。

・P 9（２）北部エリア本文中について、観光地利用者統計調査に基づく最新数値に更新修正後：

長野県の令和 7 年（2025 年）観光地利用者統計調査によると、世界の保健休養地としても名高い軽井沢は、年間約 809 万人の方が訪れています。コロナ禍からの経済活動の回復に伴い、令和 7 年は対前年比で約 18 万人（2.2%）の増となり、県を代表する観光地となっています。東白樺湖・白樺湖（立科町・茅野市）も、約 226 万人（※茅野市分を含む。）と県内では 7 番目に利用者が多い観光地となっているほか、佐久平（佐久市）には約 98 万人、道の駅雷電くるみの里（東御市）には約 94 万人、蓼科牧場（立科町）には約 66 万人の方が訪れています。

表 5 佐久地域定住自立圏の観光地利用状況

（令和 7 年（2025 年））

（単位：万人／年）

<u>軽井沢高原（軽井沢町）</u>	<u>809</u>
<u>東白樺湖（立科町）</u>	<u>116</u>
<u>佐久平（佐久市）</u>	<u>98</u>
<u>道の駅雷電くるみの里（東御市）</u>	<u>94</u>
<u>蓼科牧場（立科町）</u>	<u>66</u>
<u>野辺山高原（南牧村）</u>	<u>55</u>
<u>平尾山公園（佐久市）</u>	<u>56</u>
<u>懐古園（小諸市）</u>	<u>51</u>

<u>湯の丸高原(東御市)</u>	<u>50</u>
<u>道の駅ヘルシーテラス佐久南(佐久市)</u>	<u>43</u>
<u>道の駅八千穂高原(佐久穂町)</u>	<u>42</u>
<u>高峰高原(小諸市)</u>	<u>40</u>
<u>布引観音(小諸市)</u>	<u>28</u>
<u>八千穂高原(佐久穂町)</u>	<u>27</u>
<u>浅間高原(御代田町)</u>	<u>22</u>
<u>川上郷(川上村)</u>	<u>16</u>
<u>飯綱山公園(小諸市)</u>	<u>15</u>
<u>中山道望月宿(佐久市)</u>	<u>12</u>
<u>松原湖(小海町)</u>	<u>10</u>
<u>春日温泉(佐久市)</u>	<u>8</u>

出典：観光地利用者統計調査(長野県山岳高原観光課)

・ P 2 4 重要業績評価指標 (K P I)

指標名：「学校内外の機関や、教職員から継続的な相談・指導を受けた状況」を、「不登校児童生徒のうち、学校内外の機関や教職員から継続的な相談・指導を受けた児童生徒の割合」に改める。

・ P 2 6 重要業績評価指標 (K P I)

指標名：「児童生徒の情報活用能力」を、「全国学力・学習状況調査における児童生徒の ICT活用能力(文章作成・情報収集・プレゼン力等)に関する肯定的回答率の平均値」に改める。

・ P 3 7 重要業績評価指標 (K P I)

取組事項：広域的観光の推進 指標名：観光地延利用者数

観光地利用者統計調査に基づく最新数値公表に伴い、K P I を以下のとおり修正しました。

重要業績評価指標 (KPI)

指 標 名	現 状	目 標
観光地延利用者数	延べ <u>17,295,900 人</u> (<u>R 7 年度</u>)	延べ <u>20,293,915 人</u> (<u>R 13 年度</u>)

資料 3 - 2 第四次佐久地域定住自立圏共生ビジョンに係る資料

・ P 4 ・ P 6 重要業績評価指標 (K P I) を、上記資料 3 - 1 の P 2 4 ・ P 2 6 ・ P 3 7 の修正内容と同様に修正します。